

2016年3月期 第3四半期決算概要

ルネサス エレクトロニクス株式会社
2016年2月9日

2016年3月期 第3四半期決算概要

2016年3月期より、経営者が意思決定する際に使用する指標（以下Non-GAAPベース）を資料上開示しております。

Non-GAAP連結業績は、財務会計上の数値（GAAP）から非経常項目やその他の調整項目を控除したもので、当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。

2016年3月期 第3四半期 業績サマリー

第3四半期の主な半導体売上高増減背景

■ 半導体売上高

前年同期比・前四半期比ともに9%減収の1,609億円とほぼ予想通りの着地

■ 自動車向け事業

前年同期比・前四半期比ともに4%減収なるも車載制御・車載情報ともに予想比増

■ 汎用向け事業

構造改革およびその他汎用での減収を主要因として、前年同期比・前四半期比ともに14%減収

第3四半期の主な利益増減背景

■ 売上総利益率

減収などにより前四半期比3.5Pts.減の43.6%となったものの、前年同期比では、原価改善や為替影響を主要因として+2.6Pts.の改善、また予想比でも在庫作り貯め増などの一時的な要因があり+5.2Pts.の改善

■ 営業利益

売上総利益が予想比で改善したことに加え、R&D^{*1}およびSG&A^{*2}の効率化により、予想比+110億円の250億円で着地

*1 R&D：研究開発費 *2 SG&A：販売費および一般管理費

2016年3月期 第3四半期 決算概要

売上高はほぼ想定ライン、
売上総利益率は一時的な増加要因も含み、前年同期比・予想比で向上

売上高、半導体売上高の前年同期比、前四半期比、予想比は小数点以下を四捨五入

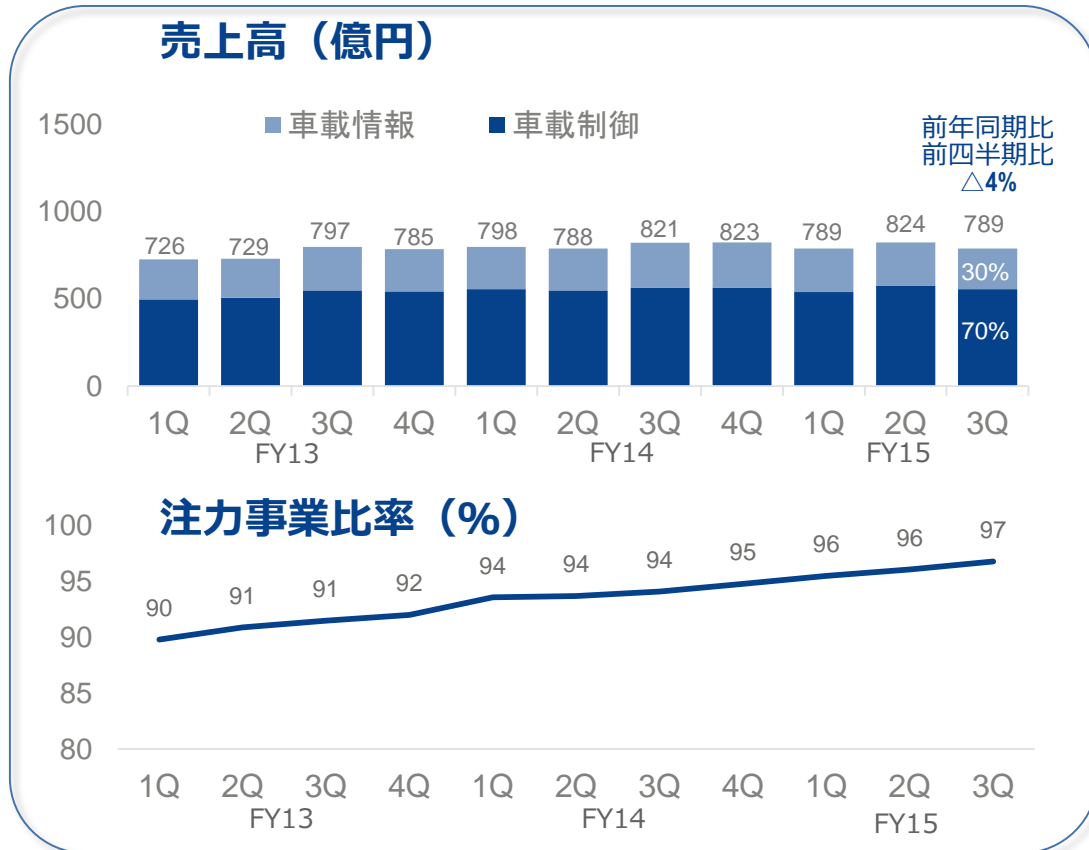
(億円)	2015年3月期	2016年3月期					
	第3四半期	第2四半期	第3四半期	前年同期比	前四半期比	予想比	9カ月累計
売上高	1,919	1,814	1,648	△14.1%	△9.2%	+1.1%	5,255
半導体売上高	1,774	1,770	1,609	△9.3%	△9.1%	+1.2%	5,124
売上総利益率	40.9%	47.1%	43.6%	+2.6Pts.	△3.5Pts.	+5.2Pts.	45.1%
営業利益(率)	295 (15.3%)	307 (16.9%)	250 (15.1%)	△45 (△0.2Pts.)	△58 (△1.8Pts.)	+110 (+6.6Pts.)	881 (16.8%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	382	275	186	△196	△89	+131	760
EBITDA*1	465	463	410	△56	△53	+115	1,349
1米ドル	110円	123円	121円	11円円安	2円円高	4円円安	122円
1ユーロ	140円	137円	134円	6円円高	3円円高	4円円安	134円

*1 EBITDA：営業利益+減価償却費+長期前払費用償却額

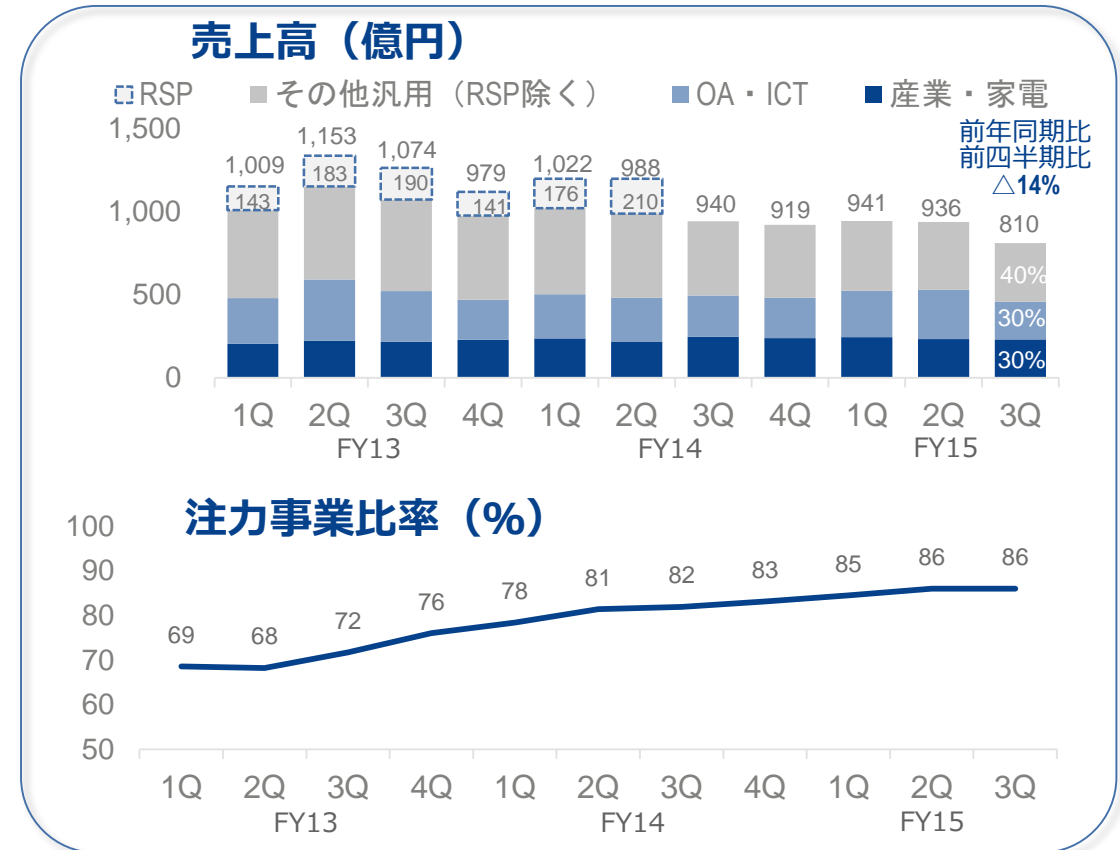
半導体売上高の事業別推移(Non-GAAPベース*1)

自動車：前年同期比・前四半期比ともに4%減収なるも車載制御・車載情報ともに予想比増
汎用：構造改革およびその他汎用の減収を主要因として、前年同期比・前四半期比ともに14%減収

自動車向け事業



汎用向け事業

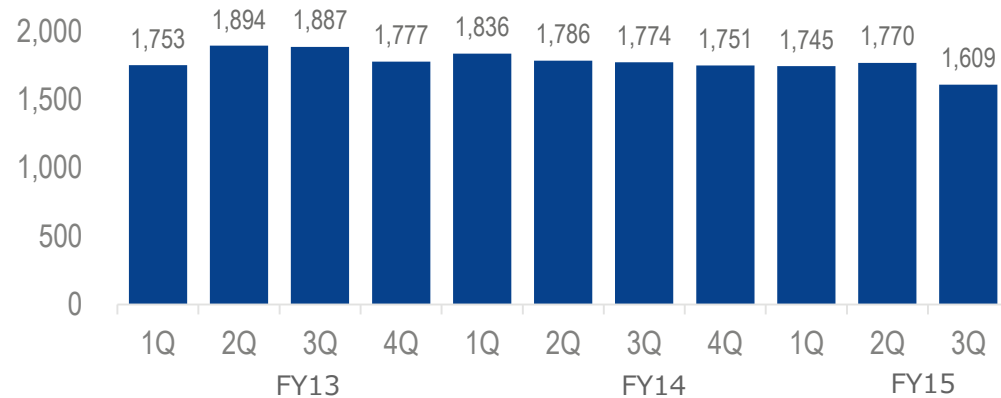


*1 Non-GAAPベース：RSP(ルネサスエスピードライバ)にかかる売上および損益の影響、LTEモデム事業にかかる損益の影響、作り貯めの損益の影響を控除

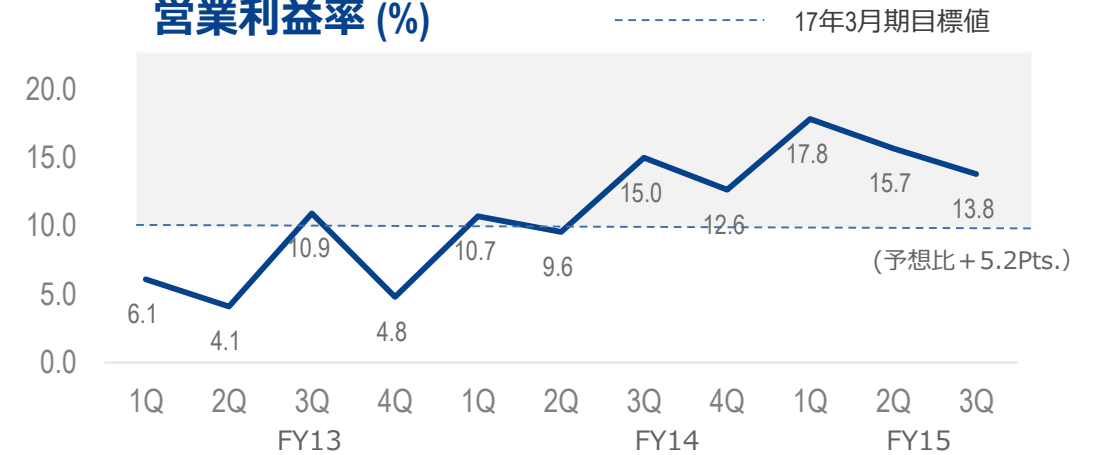
四半期業績推移 (Non-GAAPベース)

減収に加えて、上期に貢献した一時的な売上総利益増加要因の反動減により、売上総利益率・営業利益率は前四半期比で低下するも、予想比では改善

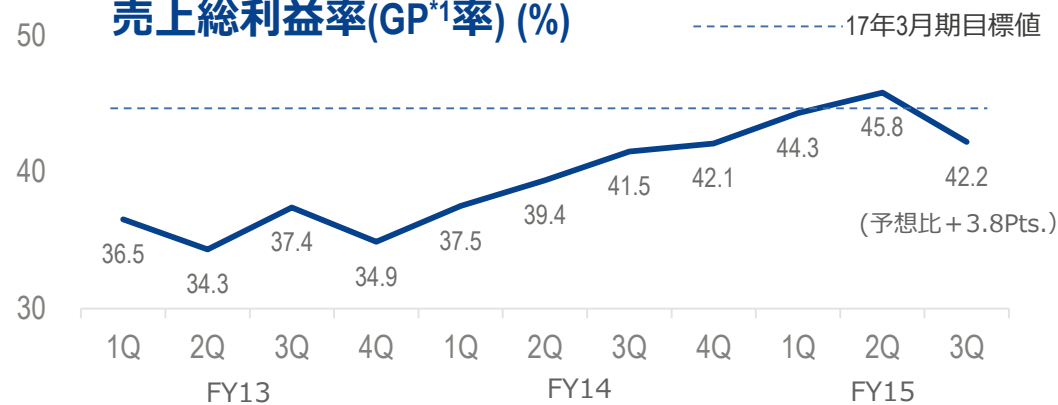
半導体売上高 (億円)



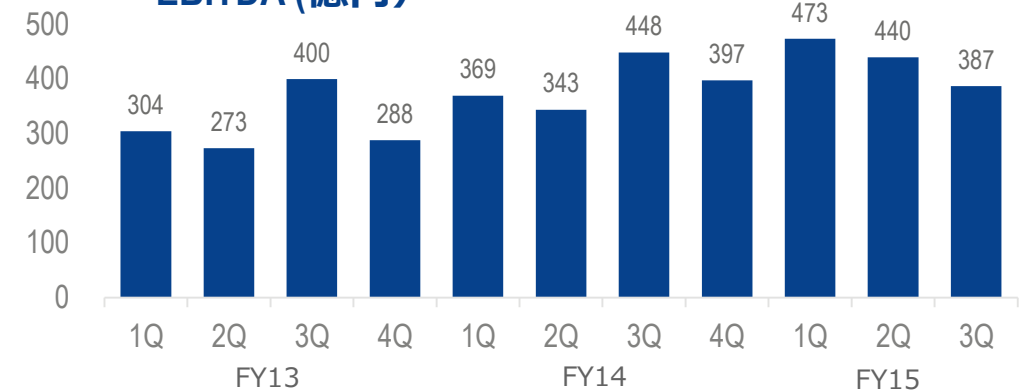
営業利益率 (%)



売上総利益率(GP*1率) (%)



EBITDA (億円)

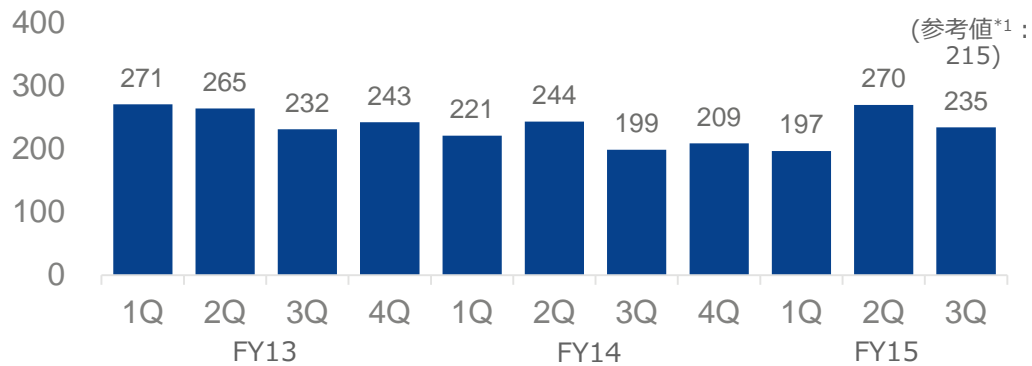


*1 GP : Gross Profit

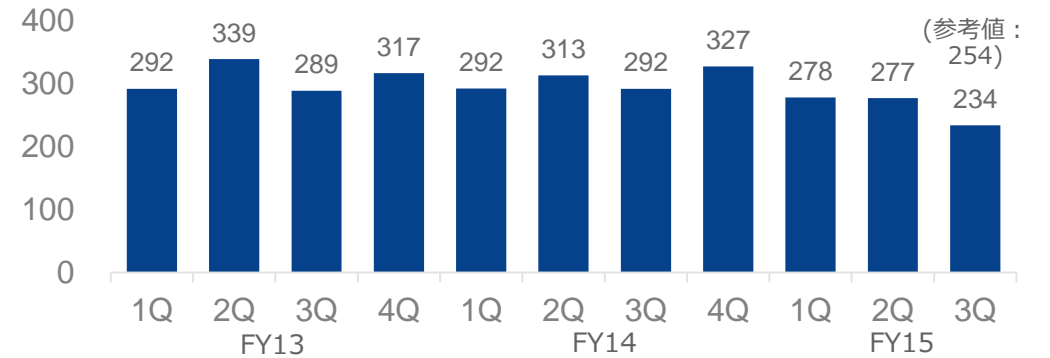
R&D、SG&A推移 (Non-GAAPベース)

注力分野の開発強化により、R&D比率は上昇傾向

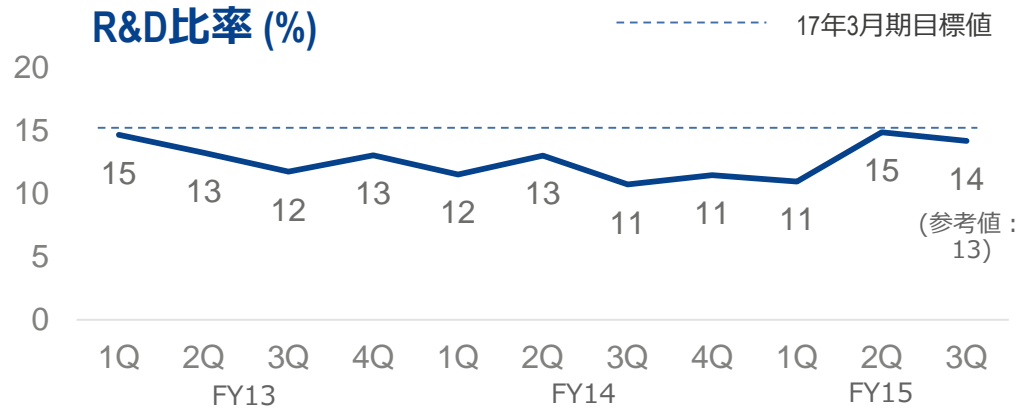
R&D (億円)



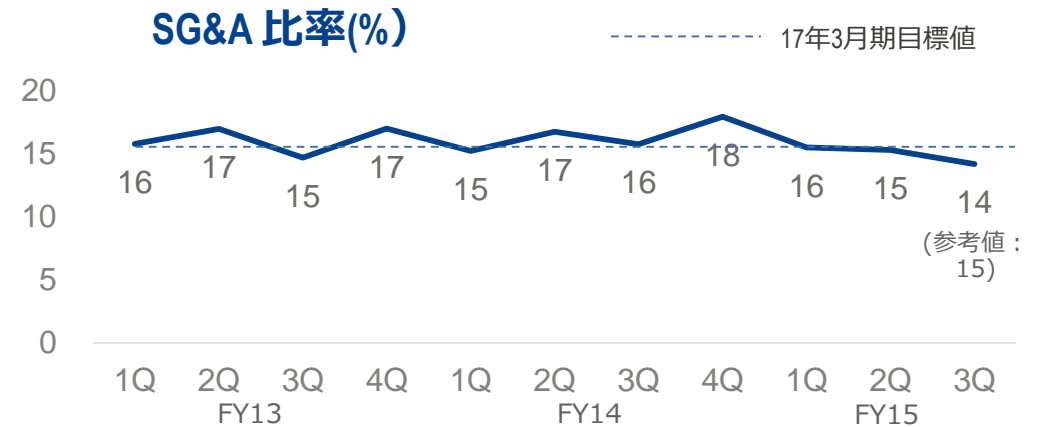
SG&A (億円)



R&D比率 (%)



SG&A比率 (%)



*1 参考値：FY15/2Q（設計拠点再編前）と同様の集計単位で試算した数値を参考記載

2016年3月期 通期業績予想

2016年3月期 第4四半期および通期 業績予想サマリー

第4四半期の主な半導体売上高増減背景

■半導体売上高

半導体売上高は1,601億円と予想、自動車向け事業および汎用向け事業ともに前四半期から横ばいの見込み

第4四半期の主な利益増減背景

■売上総利益率および営業利益

半導体売上高は前四半期比横ばいの見通しなるも、作り貯め減や為替影響により、売上総利益率は前四半期比減の40.1%の見込み
加えてR&DおよびSG&Aなどの期末費用集中もあるが、営業利益は119億円の見込み

通期の主な半導体売上高増減背景

■半導体売上高

構造改革による非注力製品からの撤退を推進し、半導体売上高は6,725億円（前期比10.7%減）の見込み

通期の主な利益増減背景

■売上総利益率および営業利益

売上総利益率は、構造改革による製造固定費削減効果に加え為替影響もあり、前期比+3.6Pts.の43.9%の見込み
営業利益は前期比減を見込むも、R&DおよびSG&Aの効率化が奏功し、1,000億円の見込み

2016年3月期 第4四半期および通期 業績予想

(億円)	2015年3月期		2016年3月期					
	第4四半期	通期	第3四半期	第4四半期	前年同期比	前四半期比	通期 (年間累計)	前期比
売上高	1,822	7,911	1,648	1,645	△9.7%	△0.2%	6,900	△12.8%
半導体売上高	1,751	7,533	1,609	1,601	△8.6%	△0.5%	6,725	△10.7%
売上総利益率	42.8%	40.3 %	43.6%	40.1%	△2.8Pts.	△3.5Pts.	43.9%	+3.6Pts.
営業利益(率)	244 (13.4%)	1,044 (13.2%)	250 (15.1%)	119 (7.3%)	△125 (△6.2Pts.)	△130 (△7.9Pts.)	1,000 (14.5%)	△44 (+1.3Pts.)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	90	824	186	60	△30	△126	820	△4
EBITDA	411	1,710	410	280	△132	△130	1,629	△81
1 米ドル	119円	108円	121円	120円	1円円安	1円円高	121円	13 円円安
1 ユーロ	140円	140円	134円	130円	10円円高	4円円高	133円	7円円高

ビジネストピックス

自動車および産業やIoT分野への注力を加速



- ✓ 40nmマイコンの採用がW/Wで加速し、28nm製品でも開発先行



- ✓ 自動運転につながるADAS向け最先端SoC R-Car H3を発表
- ✓ コンソーシアムパートナーは、170社以上へ拡大



- ✓ 中国有力カーメカ-Nevs社と中国向け工場での戦略提携



- ✓ 工場の生産性を向上させるAIソリューション発表
- ✓ R-Carに続きコンソーシアムは50社以上へ拡大



- ✓ IoTに最適な新製品を北米に続き欧州、日本でも販売開始



- ✓ プライベート展DevConを16年1月にインドで開催し、スマートメタなどインド向けソリューションを紹介

APPENDIX

GAAPとNon-GAAP間の調整項目

(億円)	2014年3月期				2015年3月期				2016年3月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	前4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
半導体売上高 (GAAP) ①	1,896	2,077	2,076	1,918	2,012	1,996	1,774	1,751	1,745	1,770	1,609
RSP ^{*1} ②	△143	△183	△190	△141	△176	△210	-	-	-	-	-
半導体売上高 (Non-GAAP) ①+②	1,753	1,894	1,887	1,777	1,836	1,786	1,774	1,751	1,745	1,770	1,609
売上総利益 (GAAP) ①	727	779	840	752	805	816	786	781	798	855	718
RSP②	△52	△66	△69	△44	△60	△64	-	-	-	-	-
作り貯め ^{*2} ③	-	△28	△36	△58	△26	△17	△17	△14	△4	△23	△23
売上総利益 (Non-GAAP) ①+②+③	675	685	736	650	719	735	769	767	794	832	695
営業利益 (GAAP) ①	98	109	300	170	270	235	295	244	324	307	250
RSP②	△38	△47	△49	△22	△39	△40	-	-	-	-	-
LTEモデム事業 ^{*3} ③	52	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-
作り貯め④	-	△28	△36	△58	△26	△17	△17	△14	△4	△23	△23
営業利益 (Non-GAAP) ①+②+③+④	112	81	215	90	205	179	278	230	320	284	227
R&D (RSP)	11	15	16	18	18	19	-	-	-	-	-
SG&A (RSP)	3	3	4	4	3	5	-	-	-	-	-
R&D (LTEモデム事業)	43	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SG&A (LTEモデム事業)	9	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*1 RSP：2014年10月1日に譲渡したルネサスエスピードライバの売上高および営業損益

*2 作り貯め：工場再編に伴う、EOL製品の作り貯めにかかる損益

*3 LTEモデム事業：2013年10月1日に譲渡したLTEモデム事業にかかるR&DおよびSG&A

バランスシートの状況

自己資本比率は40%台まで改善

(億円)	2015年3月末	2015年6月末	2015年9月末	2015年12月末
総資産	8,401	8,518	8,664	8,628
うち 現金及び現金同等物	3,437	3,687	3,881	4,051
うち たな卸資産	1,114	1,131	1,166	1,149
負債合計	5,282	5,070	5,060	4,834
うち 有利子負債	2,597	2,594	2,548	2,521
株主資本	2,778	3,077	3,353	3,538
純資産合計	3,119	3,447	3,604	3,793
D/Eレシオ(グロス)	0.84倍	0.76倍	0.71倍	0.67倍
自己資本比率	36.8%	40.2%	41.3%	43.7%

(注) ①現金及び現金同等物：「現金及び預金」と「有価証券」の単純合算値から「預入期間が3ヶ月を超える定期預金」を控除しております。

②有利子負債：「短期借入金」、「1年内返済予定の長期借入金」、「リース債務」、「長期借入金」

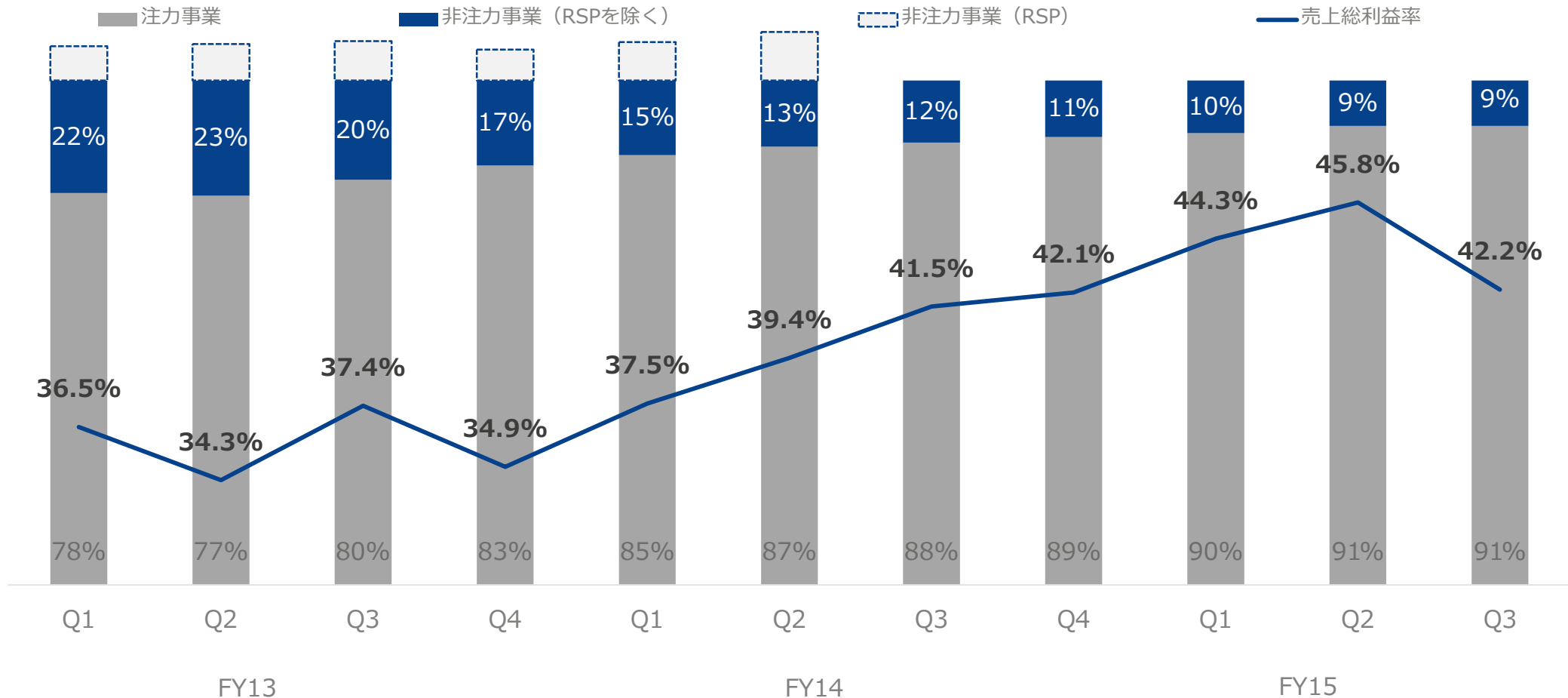
③自己資本：「株主資本」、「その他の包括利益累計額」 ④D/Eレシオ(グロス)：有利子負債/自己資本

キャッシュ・フローの状況

(億円)	2015年3月期				2016年3月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	20	495	410	242	315	451	326
投資活動による キャッシュ・フロー	△109	△149	72	△80	△54	△120	△97
フリー・キャッシュ・ フロー	△89	347	482	162	262	331	230

注力・非注力事業売上比率と売上総利益率推移 (Non-GAAPベース)

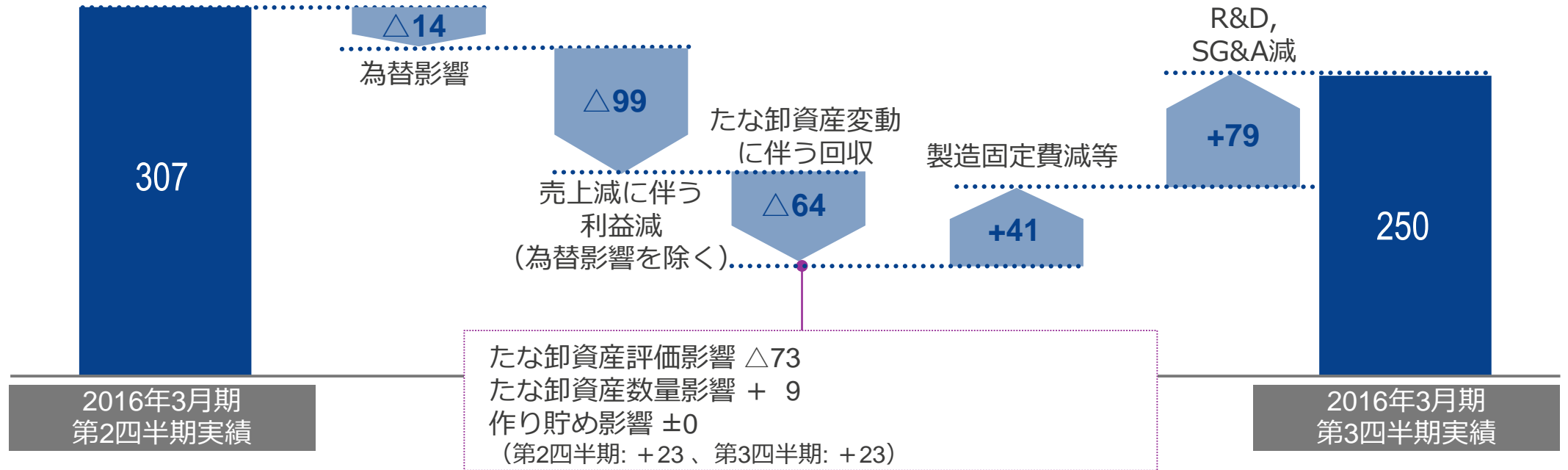
構造改革を進め売上総利益率を引き続き改善し、市場変動に耐性のある体質へ変革



2016年3月期 第3四半期 営業利益

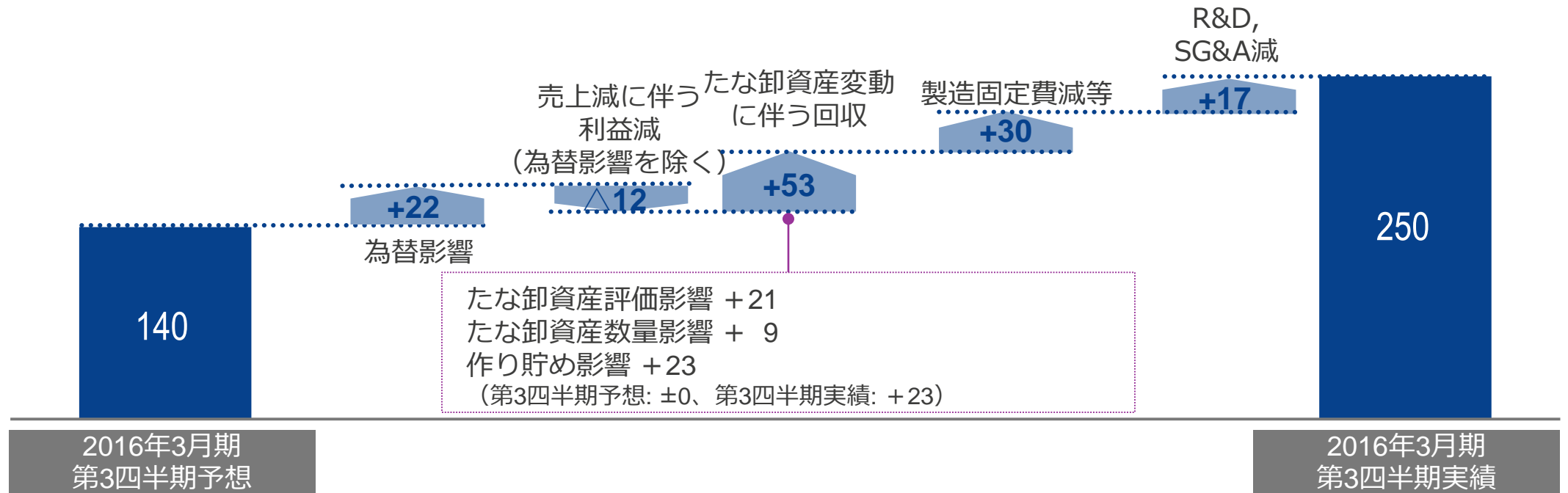
前四半期比 (億円)

- 費用抑制を行うものの、売上減、たな卸資産変動に伴う回収減および為替影響により前四半期比57億円減



2016年3月期 第3四半期 営業利益 予想比 (億円)

- 作り貯めの増加などによるたな卸資産変動に伴う回収増や費用抑制および為替影響により予想比110億円増

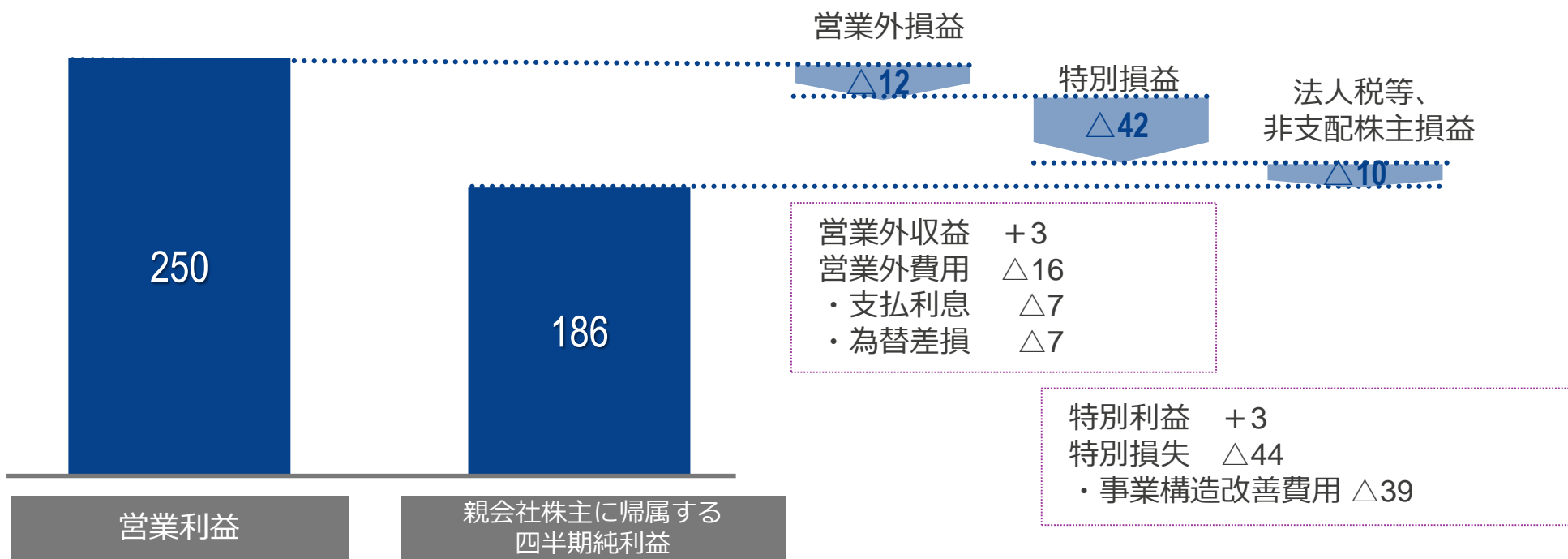


2016年3月期 第3四半期

親会社株主に帰属する四半期純利益

(億円)

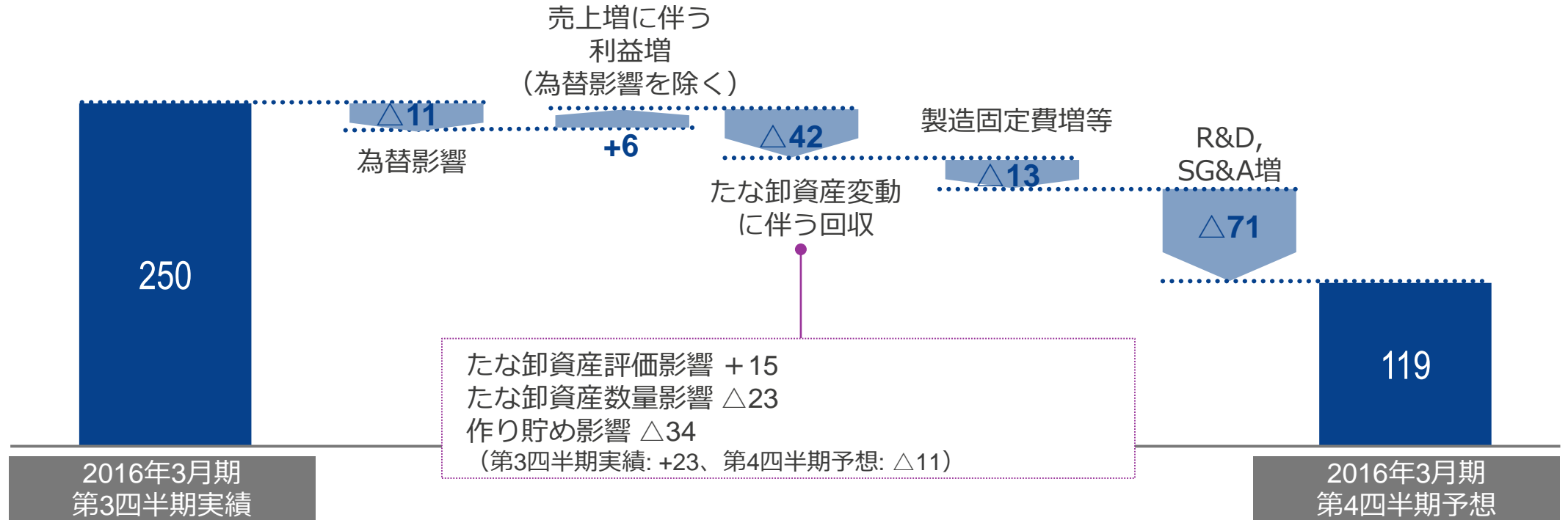
- 第3四半期は特別損失が想定を下回ったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は186億円の黒字で着地



2016年3月期 第4四半期 営業利益予想

前四半期比 (億円)

- 作り貯めの減少などによるたな卸資産変動に伴う回収減や期末費用集中および為替影響により前四半期比131億円減の見込み

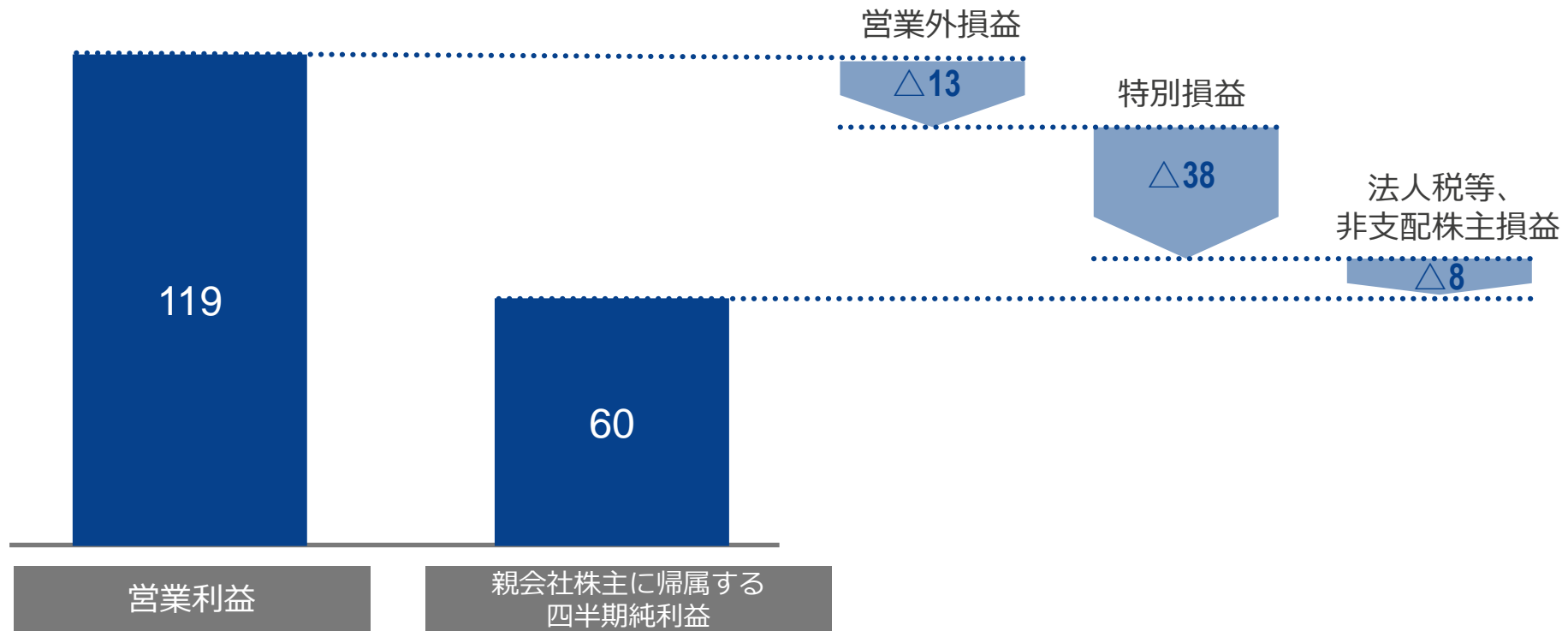


2016年3月期 第4四半期

親会社株主に帰属する四半期純利益予想

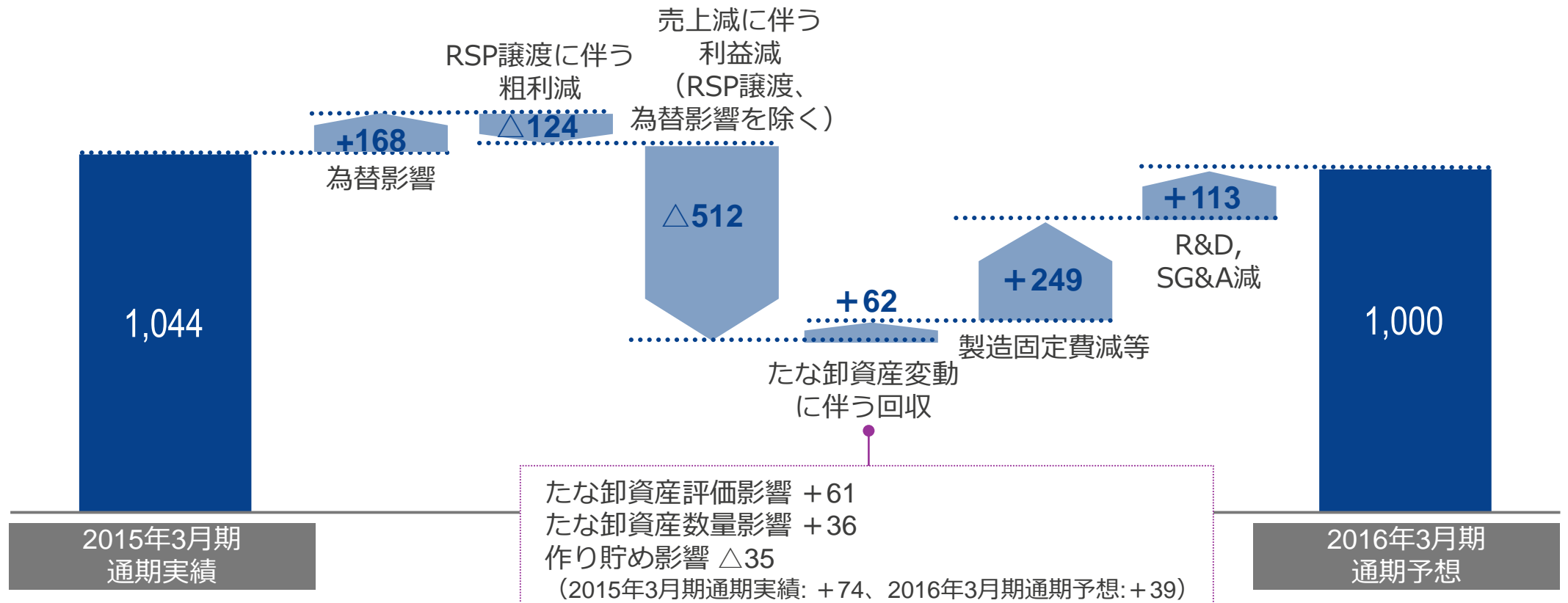
(億円)

- 第4四半期は前四半期比ほぼ横ばいの特別損益を見込み、親会社株主に帰属する四半期純利益は60億円の見込み



2016年3月期 通期 営業利益予想 前期比 (億円)

- 売上減に伴う利益減、RSP譲渡に伴う粗利減が大きいものの、構造改革による製造固定費減やR&D、SG&Aの効率化および為替影響により、営業利益は前期比微減の1,000億円の見込み

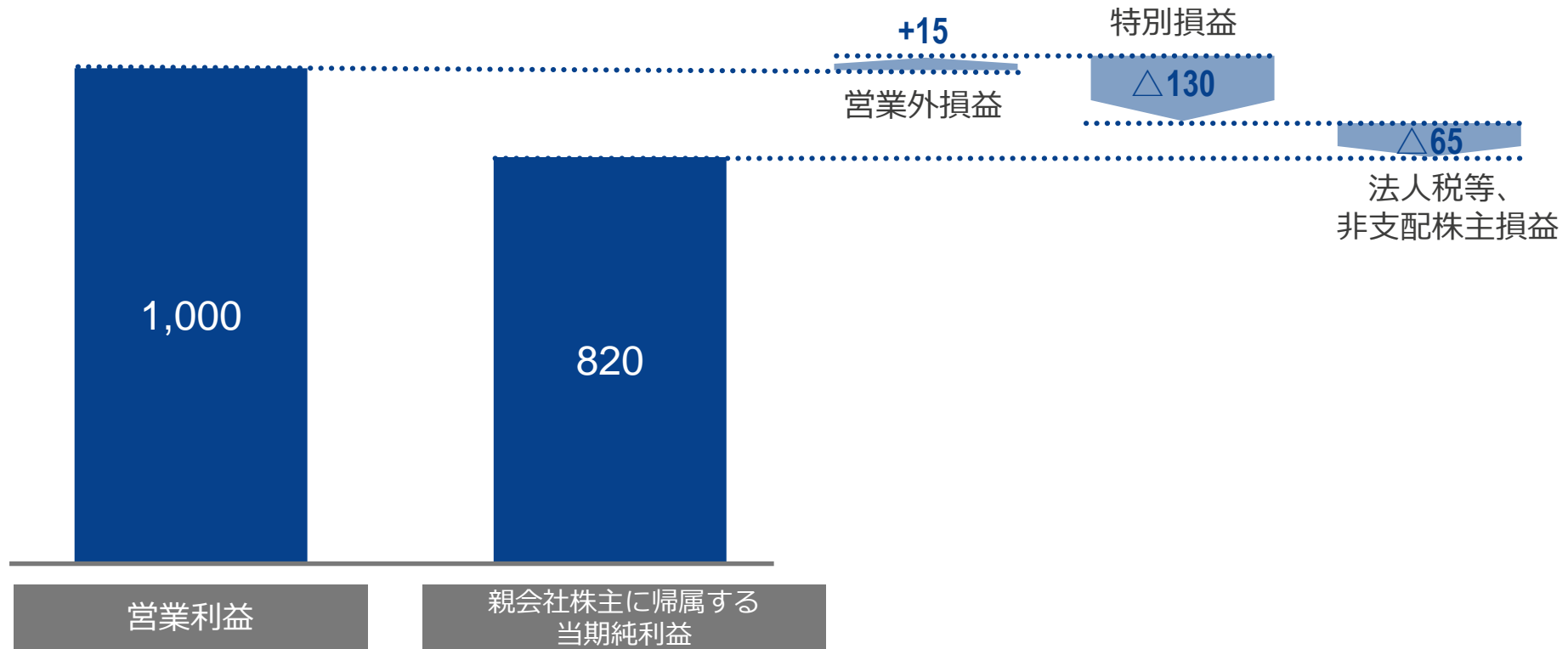


2016年3月期 通期

親会社株主に帰属する当期純利益予想

(億円)

- 231億円の特別利益が発生し、特別損益が113億円となった前期と比べ
2016年3月期は特別損益の減を見込み、親会社株主に帰属する四半期純利益は820億円の見込み



(将来予測に関する注意)

本資料に記載されているルネサス エレクトロニクスグループの計画、戦略及び業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づきルネサス エレクトロニクスグループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、(1) ルネサス エレクトロニクスグループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2) 市場におけるルネサス エレクトロニクスのグループ製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3) 激しい競争にさらされた市場においてルネサス エレクトロニクスグループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、(4) 為替レート(特に米ドルと円との為替レート)の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。